

 SmartDrive

# 事例に学ぶ 業務効率化と残業削減への取り組み

# 会社概要

会社名	株式会社スマートドライブ
設立	2013年 10月
本社所在地	東京都港区新橋6-19-13WeWork新橋3階
資本金	( 資本準備金等を含む ) : 28億4,100万円
代表取締役 (CEO)	北川 烈

## 金融投資家



## 事業会社系投資家



## 受賞歴



第3回  
「CNET Japan  
Startup Award」  
にて最優秀賞を  
受賞

2015



経済産業省が推  
進するスタート  
アップ企業の育  
成支援プログラ  
ム「J-Startup」  
に選出

2018



日本経済新聞社  
による「NEXTユ  
ニコーン調査」  
で31位にランキ  
ング

2018



Forbes ASIA 「30  
Under 30 ASIA」  
にスマートドラ  
イブ代表の北川  
が選出

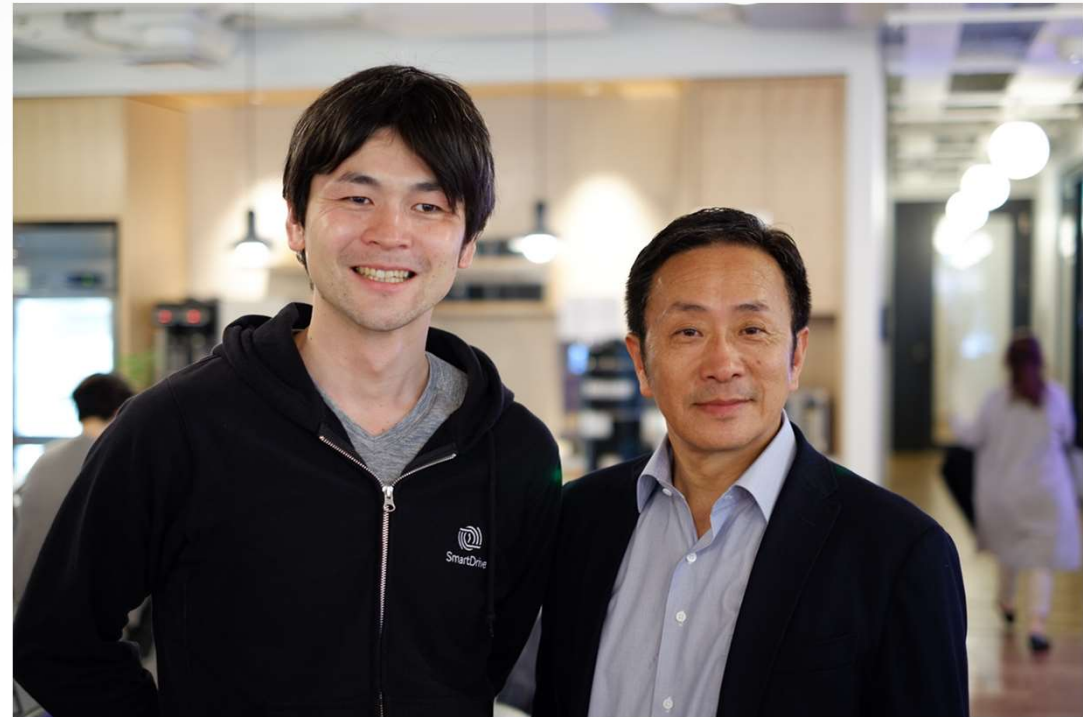
2019

# アジェンダ

- 1 ベルテックス様が抱えていた課題
- 2 SmartDrive Fleetによって課題を解決する方法をご紹介します
- 3 ベルテックス様が得た成果とは？

## 事例企業の紹介

- 会社名 : 株式会社ベルテックス  
業種 : 通信業  
業務内容 : 新築戸建てのアンテナ施工、  
防犯カメラ設置、各種通信工事など  
人員 : 23名





# 抱えていた課題

# 経営者視点での課題

経営者が車両管理システムを導入しようと思ったきっかけ

- 1 残業時間の削減
- 2 安全運転の推進

# 総務視点での課題

総務が車両管理システムを導入しようと思ったきっかけ

- 1 日報管理の工数削減
- 2 車両管理の工数削減



# 現場スタッフ視点での課題

現場スタッフが抱えていた悩み

## 1 日報入力の工数削減

他社の車両管理システムを  
導入してみたが・・・



# 他社の車両管理システムを導入するも失敗

抱えていた課題を解決しようと他社の車両管理システムを導入したが  
下記の理由で運用を定着化することができなかった

- ① 管理画面の操作方法がわかりにくい
- ② リアルタイムに車両の位置が把握できない
- ③ 車両管理（動産管理）の機能がなかった



# SmartDrive Fleet によって解決した課題

# 車両管理システムを導入するも失敗

抱えていた課題を解決しようと他社の車両管理システムを導入したが  
下記の理由で運用を定着化することができなかった

- ① 管理画面の操作方法がわかりにくい
- ② リアルタイムに車両の位置が把握できない
- ③ 車両管理（動産管理）の機能がなかった

# 車両管理システムを導入するも失敗

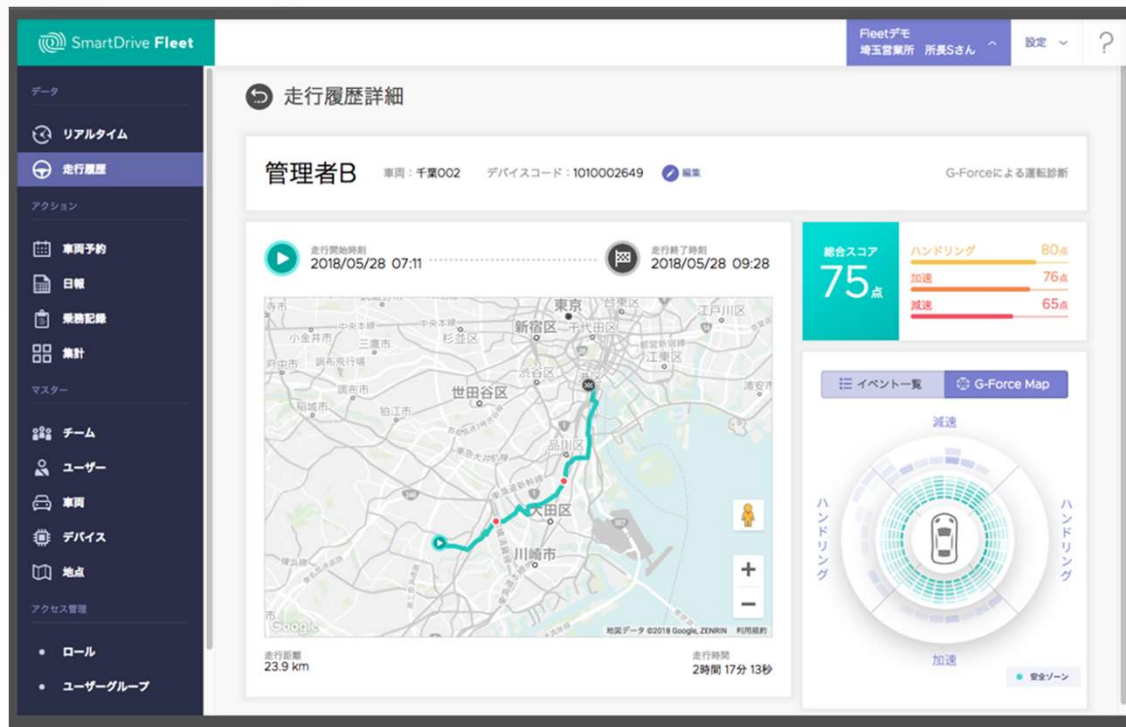
抱えていた課題を解決しようと他社の車両管理システムを導入したが  
下記の理由で運用を定着化することができなかった

- 1 管理画面の操作方法がわかりにくい
- 2 リアルタイムに車両の位置が把握できない
- 3 車両管理（動産管理）の機能がなかった

# 使いやすい管理画面

直感的でわかりやすいメニュー表示で、導入後もスムーズに運用開始ができます。

## PC管理画面



## スマートフォン画面



# 動態管理システムを導入するも失敗

抱えていた課題を解決しようと他社の車両管理システムを導入したが  
下記の理由で運用を定着化することができなかった

- ① 管理画面の操作方法がわかりにくい
- ② リアルタイムに車両の位置が把握できない
- ③ 車両管理（動産管理）の機能がなかった



# リアルタイムに車両の位置を把握

リアルタイムでの車両運行状況把握によるサービス品質の向上

- ✓ リアルタイムですべての車両の位置情報や運行状況がわかるので、**ドライバー1人1人に電話で確認することなく、現場付近のドライバーをすぐに派遣することができます**。お客様をお待たせする時間が短くなり、満足度向上につながります。
- ✓ 「あとどれくらいで到着できるか」のお問合せにもその場で回答ができるのでお待たせしません。**ドライバーへの確認業務が不要になるので、オペレーション改善**にもつながります。

リアルタイムの車両位置情報を把握

住所を検索することで付近にいるドライバーの特定が可能



スマートフォンで外出先からの確認も可能

ドライバーや車両名、走行中・停車中・進行方向も一目で確認可能

## 動態管理システムを導入するも失敗

抱えていた課題を解決しようと他社の車両管理システムを導入したが  
下記の理由で運用を定着化することができなかった

- ① 管理画面の操作方法がわかりにくい
- ② リアルタイムに車両の位置が把握できない
- ③ 車両管理（動産管理）の機能がなかった

# 車両情報の一元管理

車両情報の一元管理による管理業務の工数削減

- ✓ 運転免許証、車検、リース、車両保険、定期メンテナンス情報等の一元管理が可能となり**必要な時にすぐに情報を参照でき確認業務の工数が削減**できます。

- ✓ 免許証期限・リース更新・車検時期も任意の期間を設定すれば事前にお知らせするので、**対象となる車両の抽出といった恒常的に発生する業務が削減**できます。

車両・リース・保険・免許といった  
車両管理に欠かせない情報を一元管理



車両名	型式	車検満了日	車検期間満了まで
▲ 東京 営業車A ㄨ 14-54	1WX-YZ	2018/12/15	残り32日
埼玉 営業車B ㄨ 12-84	1AB-CD	2019/03/01	残り108日
北九州 営業車A ㄨ 29-45	3EF-GH	2019/04/01	残り139日

更新期限が任意に設定した期間に  
近づいた車両を自動でお知らせ

# 現場スタッフ視点での課題

現場スタッフが抱えていた悩み

## ① 日報入力の工数削減

# 総務視点での課題

総務が車両管理システムを導入しようと思ったきっかけ

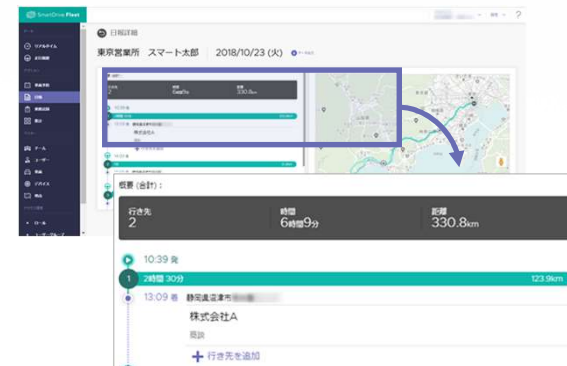
- 1 日報管理の工数削減
- 2 車両管理の工数削減

# 日報の自動化・日報の一元管理

運行日報の自動化・ペーパーレス化による集計・確認業務の工数削減

- ✔ 走行データの自動取得により、日々の運行日報の記録を削減できます。必要なデータはPCからいつでも検索・確認できるので、**月次で発生する大量の紙帳票からの集計作業や確認業務の工数を削減**します。
  
- ✔ ペーパーレス化実現により、**保管スペースが不要**になります。
  
- ✔ ドライバーによる手動記録による記入漏れ・不備の心配がなくなり、**拠点への確認業務工数を大幅に削減**します。

ドライバー毎の1日の運行データを位置情報と共に自動記録



組織や個人別に月次の走行時間や走行距離の集計を自動化

年月	ユーザー名	車両名	デバイスコード	走行距離(km)	走行時間(hh:mm)
Oct-18	東京営業所 スマート太郎	東京001	1010000244	465	15:12
Oct-18	営業部長Y	マネージャー営業車001	0719C1	105	5:02
Oct-18	管理者B	マネージャー営業車002	07110C	150	3:50
Oct-18	埼玉営業所 所長S	埼玉001	07108F	89	2:44
Oct-18	総務K	本社002	07114A	73	2:08
Oct-18	管理者A	本社001	0711BD	31	1:02
Oct-18	千葉営業所 営業D	千葉001	1010000609	37	0:54



# SmartDrive Fleet 導入による効果

# 経営者視点での課題

経営者が車両管理システムを導入しようと思ったきっかけ

- 1 残業時間の削減
- 2 安全運転の推進



# 経営者視点での課題

経営者が車両管理システムを導入しようと思ったきっかけ

- 1 残業時間の削減
- 2 安全運転の推進

## 無駄な管理工数の削減に成功

「リアルタイムで車両の位置がわかることによって工事の手配がスムーズになったのは非常にありがたいです。

スタッフにその都度「今、どこにいますか？」と連絡する必要がないため、調整にかかっていた無駄な時間が大幅に削減できました。」

## 現場スタッフの残業時間の削減にも成功

「現場スタッフの残業時間が減りました。紙の日報に手書きで記入する面倒な作業から解放されて良かったです。」

# 経営者視点での課題

経営者が車両管理システムを導入しようと思ったきっかけ

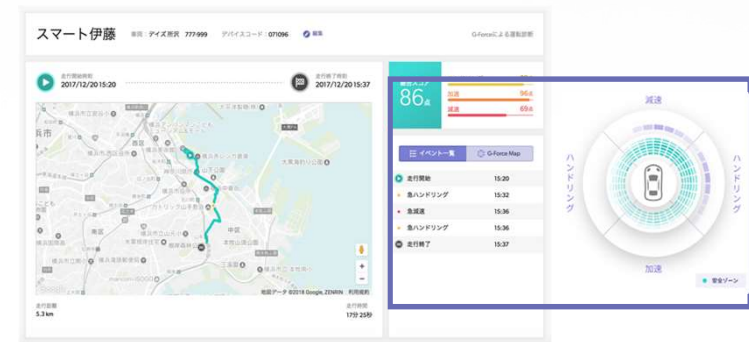
- 1 残業時間の削減
- 2 安全運転の推進

# 安全運転の推進

運転傾向の可視化による安全運転指導体制を確立

- ✔ 拠点やドライバー毎の運転傾向の可視化により、**重点的に指導や対策が必要なドライバーを抽出**することができます。
- ✔ 画一的な指導ではなくドライバーそれぞれの**運転傾向に応じた個別具体的な指導により、ドライバー自身が運転の改善点を把握**ができ、安全運転意識向上・事故抑制に繋げる事ができます。
- ✔ 安全運転の啓蒙活動が形骸化しないために、アラート機能を活用し**危険運転を管理者が即把握**することで日々の**振り返り・対策立案**といった**指導体制を確立**することができます。

走行ごとに、ドライバーの運転特性（危険運転・運転スコア）を可視化



運転診断アラートでは任意の閾値を超えた危険運転が発生した場合、管理者へメール送信

最高速度(必須) :  km以上

運転スコア(必須) :  点未満

急操作(必須) :  回以上

## 安全運転がしっかりと行われるようになった

「おかげさまでSmartDrive Fleet導入後、ドライバーの意識が変わって事故は起きてないです。

交通事故は、後々の手続きや身体的・精神的な負担など、起きてもいいことは一つもありません。

事故がないというだけでも、本当に大きな成果だと思っています。」

**社員の意識改革にも成功**



## 残業時間だけでなく意識改革も成功

生産性や社外での動きを可視化できるようになったので、評価体系に生産性を組み込みました。

すると、社員自身が無駄な動きを削減し、いかに効率良く現場に回るべきかを自分で考えるようになり始めています。それは非常に前向きな変化で、全社的な意識改革できて本当に良かったと思っています。



## 社員自ら安全運転に取り組むように

「安全運転スコアを現場スタッフ同士で競い合うようになって、いい雰囲気が出てきています。

安全運転の度合いが数値で表示されるというのは、ドライバー本人への気づきにもなりますしとても良いですね。単純に急加減速の回数だけだと分かりづらいですし意識まで変えることができませんから

売上アップにも成功



## 社員自ら無駄な動きを削減

「売上は昨年対比でなんと10%もアップ  
しました。」

管理者側の無駄な時間がなくなり、スタッフの動向がくっきりと見えるようになったので、今と同じスタッフ数でもさらなる効率化が目指せるのではないかと考えています。」





株式会社スマートドライブ

03-6712-9397

[info@smartdrive.co.jp](mailto:info@smartdrive.co.jp)